

家畜衛生週報

ANIMAL HYGIENE WEEKLY

No.3901 農林水産省消費・安全局 畜水産安全管理課、動物衛生課 2026. 4. 27

・香港向け家きん由来製品の輸出再開について（岩手県及び千葉県）	129
・第5回愛玩動物看護師国家試験及び第5回・第6回予備試験の実施について	130
・家畜衛生レポート（高知県）	131
・令和7年家畜伝染病発生年報	133
・第16回家畜感染症学会シンポジウム・総会	136

☆香港向け家きん由来製品の輸出再開について （岩手県及び千葉県）

（令和8年4月14日付けプレスリリース）

本日、我が国の家きん由来製品の香港向け輸出について、岩手県及び千葉県からの輸出が再開されましたのでお知らせします。

1. 概要

高病原性鳥インフルエンザによる我が国の家きん由来製品の輸出への影響をできる限り小さくするため、輸出相手国・地域当局との間で地域主義の適用について協議を行い、主な輸出先である香港、シンガポール、ベトナム、マカオ及び米国については、非発生都道府県からの家きん由来製品の輸出継続が認められています。

一方、発生県からの輸出再開について協議を行ってきたところ、今般、香港当局との間で、高病原性鳥インフルエンザに関する清浄性が認められた岩手県及び千葉県からの家きん由来製品の輸出再開について合意しました。

これにより、本日から、動物検疫所において香港向

け輸出に必要な輸出検疫証明書の交付を再開しました。

また、今回の協議により、香港向け輸出については、次表のとおり、防疫措置完了から28日が経過し清浄性が確認された日に遡って、同日以降に生産・処理された家きん由来製品の輸出が認められたため、「同日以降に生産・処理された家きん由来製品」について、輸出検疫証明書の交付が可能です。

なお、岩手県及び千葉県からのシンガポール、ベトナム、マカオ及び米国向けの家きん由来製品の輸出は再開済みです。

〈各県の清浄性が確認された日〉

岩手県	令和8年4月1日
千葉県	令和8年3月25日

〈2025年の輸出額〉

鶏肉の総輸出額：25.5億円（うち、香港22.6億円）

鶏卵の総輸出額：81.4億円（うち、香港76.7億円）

出典：財務省「貿易統計」

〈これまでの経過〉

令和8年2月21日：岩手県において高病原性鳥イン

フルエンザの疑似患畜を確認
(岩手県からの家きん由来製品の輸出が一時停止)

令和8年4月1日：岩手県は、防疫措置完了から続発なく28日経過したため再度清浄地域となる

令和8年1月27日：千葉県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認
(千葉県からの家きん由来製品の輸出が一時停止)

令和8年2月20日：千葉県において高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜を確認

令和8年3月25日：千葉県は、防疫措置完了から続発なく28日経過したため再度清浄地域となる

2. 参考

令和7年度の鳥インフルエンザに関する情報については、次のページよりご確認ください。

URL：https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/r7_hpai_kokunai.html

各国の家きん由来製品の輸出停止状況については、次のページよりご確認ください。

URL：https://www.maff.go.jp/aqs/topix/exkakin_teishi.html

☆第5回愛玩動物看護師国家試験及び第5回・第6回予備試験の実施について

(令和8年4月15日付けプレスリリース)

第5回愛玩動物看護師国家試験を令和9年2月14日(日曜日)に実施することとなりましたのでお知らせします。

また、第5回愛玩動物看護師国家試験予備試験を令和8年10月4日(日曜日)に、最終の予備試験となる第6回愛玩動物看護師国家試験予備試験を令和9年2月14日(日曜日)に実施します。

第5回愛玩動物看護師国家試験及び第5回・第6回予備試験の実施について

愛玩動物看護師法(令和元年法律第50号)の規定により、第5回愛玩動物看護師国家試験及び第5回・第6回予備試験を次のとおり実施します。なお、各試験の実施に関する事務は、指定試験機関である一般財団法人動物看護師統一認定機構(以下「機構」という。)が行います。

〈第5回愛玩動物看護師国家試験について〉

愛玩動物看護師国家試験	
試験期日	令和9年2月14日(日)
試験地	全国7か所 (北海道、宮城県、東京都、愛知県、大阪府、広島県及び福岡県)
受験申込	令和8年11月4日(水)～同年11月19日(木)
受験手数料	27,200円
合格発表	令和9年3月12日(金)
受験資格	学校等で必要な知識・技能を修得した者(令和9年3月1日までに修得する見込みの者を含む。法施行日より前に修得した者・法施行日において修得中だった者は大臣指定講習会の修了が必要。)、予備試験合格者等

〈第5回及び第6回予備試験について〉

	第5回予備試験	第6回予備試験
試験期日	令和8年10月4日(日)	令和9年2月14日(日)
試験地	全国7か所 (北海道、宮城県、東京都、愛知県、大阪府、広島県及び福岡県)	
受験申込	令和8年6月30日(火) ～同年7月23日(木)	令和8年11月4日(水) ～同年11月19日(木)
受験手数料	14,000円	
合格発表	令和8年10月26日(月)	令和9年6月25日(金)
受験資格	実務経験が5年以上の者であって大臣指定講習会を修了した者	実務経験が5年以上の者(令和9年4月30日までに5年以上となる見込みの者を含む。)であって大臣指定講習会を修了した者
備考	見込み受験者については、令和9年4月5日(月)から令和9年5月21日(金)までに実務経験証明書の提出が必要	

※試験に関する詳細情報は機構ホームページ(<https://www.ccrvn.jp/>)(外部リンク)をご確認ください。

☆家畜衛生レポート（高知県）

高知県中央家畜保健衛生所嶺北支所

1 高知県の概況

高知県は四国の南側に位置し、温暖な気候で暮らしやすく、豊かな森林と雄大な太平洋に囲まれた自然豊かな県です。南国土佐といわれるように、温暖な気候風土に恵まれた環境のもと、地の利を生かした農畜産物の生産が盛んに行われています。農産物では、なす、ししとう、しょうがやみょうがなどは全国シェアNo.1を誇っています。畜産物においても、本県の特産である「土佐あかうし」、「土佐ジロー」、「土佐はちきん地鶏」などの、ブランド力強化に力を入れています。

2 支所の概況

本県の家畜保健衛生所は防疫の強化を図るため、令和6年度から県内2か所の本所と3か所の支所に再編されました。中央家畜保健衛生所は、本所及び嶺北支所・田野支所の2支所からなり、それぞれが幅広い地域を管轄しています。当支所は四国山地の中央部に位置する土佐町にあり、本山町、大豊町、大川村の合わせて4町村を管轄しています。職員数は獣医師4名の小さな支所ですが、農業改良普及所と同じフロアにあるため、複合経営の多い農家に対しては、家畜の疾病だけでなく、米や野菜などに関する情報提供や指導についても普及所と協力して行っています。



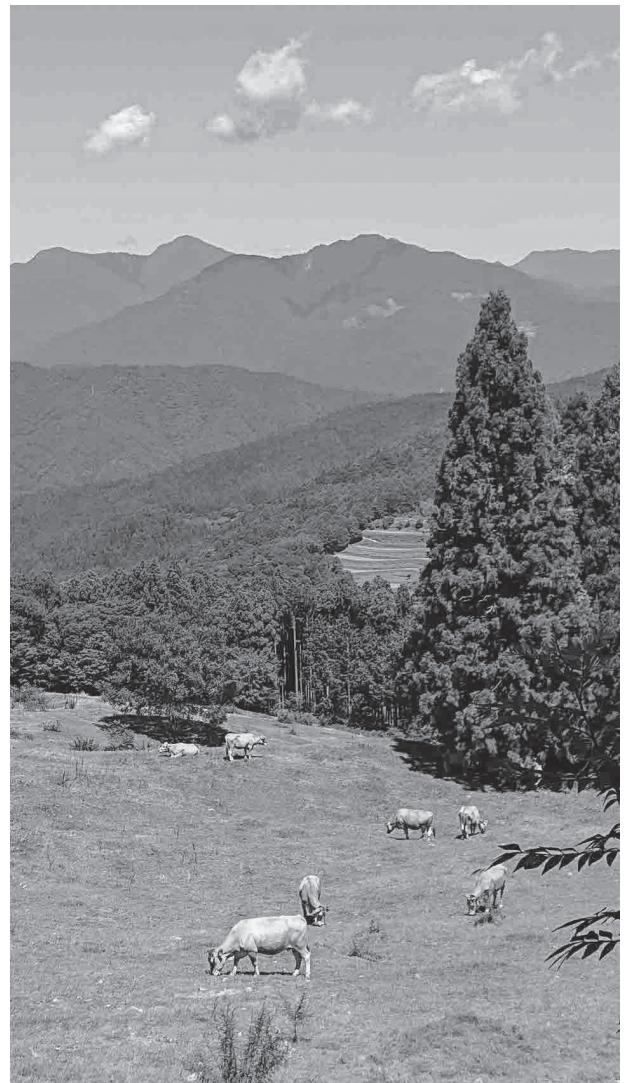
中央家畜保健衛生所嶺北支所の管轄

3 管内の畜産状況

管内には乳用牛3戸365頭、肉用牛37戸1,854頭、養鶏5戸12,495羽が飼育されています。肉用牛では高知県のブランド牛である「土佐あかうし」が多く、



嶺北支所の外観



放牧の様子

標高1,000mの山間地にある大川村では「大川黒牛」や「土佐はちきん地鶏」なども飼育されています。褐毛和種高知系（いわゆる「土佐あかうし」）は、明治時代初頭に役牛として高知県に導入され、昭和30年代後半以降は産肉能力を高めつつ、夏の暑さや病気に強い、性格がおとなしく飼いやすい、足腰が丈夫で放牧に適しているなど、本県の気候風土や中山間の飼育環境によく適応するよう改良がすすめられてきました。その肉の特長として、赤肉部分に甘みと旨みがあり、霜降りが適度に入りヘルシーかつ脂のキレが良く喉ごしの風味がよいなどがあげられます。

5年に一度開催される全国和牛能力共進会では、全国で唯一褐毛和種高知系を出品し、その品種の魅力をここ嶺北地域から全国に発信しています。

また、当管内にある家畜市場では、2ヶ月に一度県内から和

牛が集まり、競りが行われています。さらに、家畜市場では毎年7月に土佐町管内の和牛子牛共励会、11月に嶺北畜産能力共進会も開催され、牛の体重当てクイズといった地域の人達が参加できるイベントもあり、とても賑わっています。

4 業務内容

当支所では、他県と同様に家畜防疫衛生や畜産振興などの業務を行うとともに、全国的にも珍しい家畜診療業務も行っています。

(1) 家畜診療業務

当管内は従来、無獣医地区であったことから、管内における乳用牛と肉用牛の診療の大部分を当支所の獣医師が行っています。診療件数は年間1,500件ほどで、乳用牛では産後の低カルシウム血症や乳房炎、産褥熱、ケトーシスなどの周産期疾患、肉用牛の子牛では肺炎などの呼吸器疾患や下痢などの消化器疾患、繁殖雌牛では繁殖障害を多く治療しています。また、第四胃変位や帝王切開、潜在精巣摘出などの外科手術も行っています。

最近では、岡山理科大学の協力を得て牛のX線検査なども行っており、家畜保健衛生所が提供できる診療技術の底上げにも取り組んでいます。その他、月に1度は農協と役場と共に農家を巡回し、妊娠鑑定やワクチン接種等の生産性向上も取り組んでいます。



X線撮影



右前肢手根関節炎による骨融解像

(2) 畜産振興業務

嶺北地域の北部に位置する大川村は「土佐はちきん地鶏」の産地であり、月1回の巡回では鶏舎内に立ち入り、生産現場の定期的な飼養衛生管理の指導を行っています。立入後は、従業員や役場職員と意見交換会を設け、当日の巡回結果を共有したり、最近の課題や動向について話し合いを行います。役場・農家・家畜保健衛生所が一体となり、鳥インフルエンザの防疫対策はもとより、畜産振興にも取り組んでいます。

(3) 受精卵移植業務

大都市圏のシェフを中心に高まっている土佐あかうしの需要に応えるべく、県では枝肉の安定供給に向けた土佐あかうし増頭対策事業として、繁殖雌牛の保留促進、担い手の確保など様々な対策を行っています。また、その事業の一つとして、乳牛への受精卵移植を行っています。

土佐町酪農センターでは、県内酪農家が当センターに預託した育成乳用牛や、要望のある管内の酪農家に対して、土佐あかうしの受精卵移植を行っています。生まれてきた土佐あかうしの受精卵産子は県が買い上げ、当支所管内のキャトルステーションで約8ヶ月まで預託育成された後、家畜市場を通じて肥育農家に導入されています。



巡回での臭気測定の様子

(4) その他

高知県では獣医師確保対策として、地元高校への出張講演、獣医科大学就職ガイダンス、インターシップ事業、高校生や大学生への修学資金貸付などを積極的に行っています。当支所でも毎年、地元の農業高校や各獣医系大学から実習生を受け入れており、家畜保健衛生所業務の重要性や農家との関わりを体感してもらっています。特に、土佐あかうしは大人しくて可愛いと好評です。現場の仕事や土佐あかうしなど産業動物の魅力を直接肌で感じてもらうことで、将来、畜産業に従事するきっかけになることを期待しています。



意見交換会

☆家畜伝染病発生年報（県別・令和7年）

伝染病の種類	流行性脳炎		ヨーネ病		伝達性海綿状脳症		豚熱	高病原性鳥インフルエンザ		高病原性鳥インフルエンザ		高病原性鳥インフルエンザ		腐蛆病		ランピースキン病				
	馬	豚	牛	めん羊	山羊	めん羊		豚	鶏	あひる	うずら	蜜蜂	牛							
家畜の種類	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	羽数	戸数	羽数	戸数	羽数	戸数	群数	戸数	頭数		
01 北海道	-	-	-	-	414	947	-	-	5	20	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-
02 青森	-	-	-	-	6	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
03 岩手	-	-	-	-	8	13	-	-	-	-	-	-	5	9	-	-	-	-	-	-
04 宮城	-	-	-	-	3	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
05 秋田	-	-	-	-	2	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
06 山形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
07 福島	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	19	-	-
08 茨城	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	1	1	-	-
09 栃木	-	-	-	-	14	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10 群馬	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	5	12	-	-	-	-	-	-

伝染病の種類	流行性脳炎	流行性脳炎		ヨーネ病		ヨーネ病		ヨーネ病		伝達性海綿状脳症		豚熱		高病原性鳥インフルエンザ		高病原性鳥インフルエンザ		高病原性鳥インフルエンザ		腐蛆病		ランピースキン病		
		馬	豚	牛	めん羊	山羊	めん羊	豚	鶏	あひる	うずら	蜜蜂	牛											
家畜の種類	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	羽数	戸数	羽数	戸数	羽数	戸数	群数	戸数	頭数
11 埼玉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12 千葉	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-	1	4	15	27	-	-	-	-	-	-	-	-
13 東京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14 神奈川	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15 新潟	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-
16 富山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17 石川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18 福井	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19 山梨	-	-	-	-	8	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20 長野	-	-	-	-	4	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
21 岐阜	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	9	-	-
22 静岡	-	-	-	-	6	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23 愛知	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	12	19	-	-	1	1	-	-	-	-
24 三重	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25 滋賀	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26 京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
27 大阪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28 兵庫	-	-	-	-	3	6	1	1	-	-	1	1	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
29 奈良	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30 和歌山	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31 鳥取	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
32 島根	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
33 岡山	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
34 広島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35 山口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36 徳島	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37 香川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38 愛媛	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
39 高知	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40 福岡	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
41 佐賀	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
42 長崎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
43 熊本	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44 大分	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45 宮崎	-	-	-	-	3	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
46 鹿児島	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-	-	-	-
47 沖縄	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和7年次計	1	1	-	-	494	1,109	1	1	5	20	1	1	6	16	44	79	-	-	1	1	10	31	1	2
令和6年次計	-	-	2	5	470	1,081	1	2	2	2	2	2	5	20	22	59	1	2	-	-	9	16	22	50

☆家畜伝染病発生年報（月別・令和7年）

疾病名		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	令和7年次計	令和6年次計
流行性脳炎（馬）	戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
	頭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
流行性脳炎（豚）	戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	頭	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
ヨーネ病（牛）	戸	37	39	34	41	55	37	33	47	37	56	34	44	494	470
	頭	77	71	125	69	132	73	84	106	80	113	87	92	1109	1081
ヨーネ病（めん羊）	戸	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	頭	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
ヨーネ病（山羊）	戸	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1	5	2
	頭	1	0	0	0	1	0	11	0	0	2	0	5	20	2
伝達性海綿状脳症（めん羊）	戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
	群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
豚熱（豚）	戸	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	6	5
	頭	2	2	4	4	2	0	0	0	0	2	0	0	16	20
高病原性鳥インフルエンザ（鶏）	戸	33	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	6	44	22
	頭	57	2	0	0	0	0	0	0	0	2	6	12	79	59
高病原性鳥インフルエンザ（あひる）	戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	羽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
高病原性鳥インフルエンザ（うずら）	戸	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	羽	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
腐蛆病	戸	0	0	0	4	1	0	1	0	4	0	0	0	10	9
	群	0	0	0	4	5	0	12	0	10	0	0	0	31	16
ランピースキン病（牛）	戸	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	22
	群	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	50

注）1. 国内において近年発生のない一部の家畜伝染病については、記述を省略している。

高病原性鳥インフルエンザについては、殺処分後に病原体（ウイルス）が分離された個体のみを患畜として発生頭数に計上している。これ以外の発生例については迅速なまん延防止措置を実施する観点から遺伝子検査結果等に基づき疑似患畜として殺処分している。

☆第16回家畜感染症学会学術集会・総会

テーマ：難治性乳房炎と対峙する
日時：2026年6月13日（土）10：00～17：30
会場：東北大学 青葉山コモンズ
〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻青葉
468-1
https://www.tohoku.ac.jp/map/ja/?f=AY_J41

大会長：佐藤 幹（東北大学大学院農学研究科教授）
開催方法：対面ならびにWeb（Zoom）開催のハイブリッド形式

参加費：正会員・賛助会員：4,000円、
非会員：6,000円、学生：無料

※参加には事前登録と事前入金が必要です
（締切り：2026年5月30日（土））。

事前登録：現在準備中
（最新情報はHPをご覧ください）

内 容：

- 開会（10：00～10：05）
- 基調講演（10：05～11：45）

黄色ブドウ球菌感染症の分子基盤と制御戦略：病原

性機構の統合理解からワクチン開発への展望
胡 東良（北里大学）

- ランチョンセミナー（12：00～13：00）
- シンポジウム「難治性乳房炎と対峙する」（13：10～16：50）
 - 1）マイコプラズマ乳房炎の病態形成と疾病制御への取り組み
樋口 豪紀（酪農学園大学）
 - 2）乳腺免疫を担う細胞ネットワークの包括的解析
野地 智法（東北大学）
 - 3）牛乳房炎に対する新しいワクチン戦略について
長澤 裕哉（農研機構）
 - 4）難治性乳房炎の治療戦略を見直す ～乳房洗浄を利用したバイオフィルムへのアプローチ～
西 航司（北海道農業共済組合）
 - 5）総合討論

- 総会（17：00～17：20）
- 閉会（17：20～17：30）
- 情報交換会（18：00～20：00）
東北大学青葉山キャンパス内で開催予定
参加費（予定）：5,000円（学生1,000円）
※情報交換会の参加費は現地でお支払いください。

通 信 今年も4月も末になり、報道でも今年のゴールデンウィークに関するニュースを見る機会が増えてきました。連休中は国内旅行の増加というだけでなく、海外からの入国者も増え、国内に家畜の病原体を持ち込むリスクや普段とは違う形で病原体を拡散させてしまうリスクが高くなることが予想されます。特に、海外からの旅行者は、日本での家畜衛生関係の知識がなく、また、注意を呼び掛ける日本語の看板等により情報を得ることも難しいため、特段の意識がなくとも、好奇心等から農場への立ち入りや家畜へ近づいてしまうといったリスクの高い行動をしてしまう可能性もあり、積極的にその対応をしていく必要があります。

疾病の発生が予防できることが、すべての関係者にとって望ましい状況と言えます。農林水産省においても、国内到着以降の対応だけでなく、海外の旅

行代理店への情報提供等により出国時からリスク行為が低減できるよう取り組みを行っているところです。また、現場で活用可能な多言語での注意喚起のための資料をHPに各種掲載しています。それぞれの関係者の皆様も、国内での疾病の発生予防のため、日本語での呼びかけはもちろん、多言語での働きかけを行うなどご対応をよろしくお願い致します。

毎週月曜日発行

家 畜 衛 生 週 報

編集・発行：農林水産省消費・安全局
畜水産安全管理課、動物衛生課

☎03(3502)8111 内線 4581

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1